

## 怒塚山（岡山市）標高 332m 金甲山（岡山市・玉野市）標高 403m 2等三角点

実施日 2025（令和7）年12月4日（木）

天候 晴 気温 3.8℃この冬一番の寒気

参加者 CL 山本 SL 佐々木<sup>順</sup> 後藤

船越 永谷 前田 大木 佐々木<sup>綾</sup> 景山 吉田 大賀 小西 田中 安永 元成 15名

行程 郡登山口・開会行事（9：30～9：40）→七合目展望所・分岐→（10：20～10：34）→怒塚山（10：54）  
→JP127鉄塔→中池分岐・三角点（田ノ上）→金毘羅宮・分岐→金甲山北展望所・P→（金甲山・三角点  
（昼食）（12：13～12：50）→石碑群・南展望所→北展望所→金毘羅宮・分岐→文政地藏→聖徳院→中池→  
掌善寺→県道45→（14：50）郡登山口・閉会行事（15：10）

概要 前夜からこの冬一番の寒波初雪のため県北からの2名が欠席、15名（うち10名は11月19日の金甲山清掃参加者）で郡（こおり）登山口を出発。4合目展望所では衣服調整をする。快適な気温だが大山は見えなかった。みつがしわ山の会の先輩たちが設置した標識や丸太椅子などをたどりながら、中国電力の鉄塔巡視路を基盤にした登山道を進み怒塚山頂上（332m）に到達。開発当時は木々は小さく360度展望が出来たようだが、今日は3月の大火で焼けた黒い貝殻山を木々の間に見たのち記念撮影。一旦210mまで下ってから電源開発巡視路を127鉄塔（232m）、中池分岐点（261m）へ、続いて開拓路を登り金毘羅宮（320m）に参拝。

参拝路を経て県道399を横切り北展望所で岡山空港、児島湖を展望し金甲山頂上へ。旧レストハウス屋上（403m）で小豆島・四国・瀬戸大橋を展望。昼食後大正地藏前の楓の紅葉が美しいので記念撮影し句碑・石碑群・南展望所を經由し金毘羅宮分岐へ。ここから先輩が復活させ、先日11月19日に会員有志で草刈整備したみつがしわ新道・文政地藏谷道を経て聖徳院へ。農道・掌善寺・県道45を経て登山口に全員無事帰着、閉会行事後解散。（山本 記）



怒塚山頂上



金甲山頂上  
大正地藏上